

# ささへあう

第35号 2016年11月2日発行



発行 日本キリスト教団東北教区  
被災者支援センター・エマオ  
〒980-0012  
仙台市青葉区錦町1-13-6  
TEL : 022-265-0173  
FAX : 022-265-0174  
公式ブログ : <http://emao311.org/>  
E-mail : [tohoku.uccj@gmail.com](mailto:tohoku.uccj@gmail.com)  
受付時間 : 午前8時～午後6時  
定休日 : 日・月曜日

## 農業支援から撤退しました

2011年3月より笹屋敷・石場町内と関わりを持たせていただき、心より感謝を申し上げます。

エマオでは、現在の活動規模を今後も維持していくことが困難になりつつあり、少しずつ活動規模を縮小する方向に向かっています。町内会と協議を重ねた末、現在行っている農作業支援活動を**2016年9月末**までとすることに至りました。

このことを決めた2015年11月から、農作業支援からの撤退を町内の皆様にお知らせすると同時に、多くのご意見をうかがう時となりました。

大半はこれまでのボランティアに対する感謝をいただくものでしたが、撤退のタイミングに関しては「遅すぎた」というお言葉をいただくこともありました。農業支援の一区切りまで、「ゆっくり過ぎる」とのご批判もありました。けれども、このスローペースがちょうど良かったのではと感じています。

エマオが農作業支援活動から撤退することは、決してエマオが笹屋敷・石場からいなくなることはありません。孤立しがちな方への訪問、ささっこクラブ、様々な町内会活動への参加など、これからも細く長くお付き合いさせていただくことが私たちの願いです。また、出会わせていただいたワーカーたちが、笹屋敷の農家さんの所へ直接訪問し再会を喜ぶことも私たちの願いです。

これからも町内で見かけたら気軽に声をかけてください。

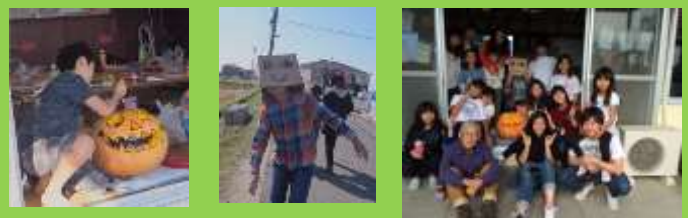
### お知らせ

11月24日(木)から11月30日(水)までの1週間、都合により支援センター・エマオはお休みをいただきます。12月1日より通常。

## ささっこクラブ報告

10月1日は、結局圧倒的な支持を得て「ザリガニ釣り」に。「穴場」を目指し一目散にでかけると、期待通り「入れ食い状態」。お家で飼える分だけ残し、またもとの「穴場」にかえました。10月15日のハロウィン、午前中近所のお家をまわり、玄関できちっとご挨拶をしてたくさんのお菓子をいただきました。全部で7軒のお宅から頂戴しました。対応したおばあちゃんおじいちゃんは「孫」の扱いに慣れている様子で、楽しい出会いのひとつでした。この日は10人以上のボランティアが来て、町内会館での「パーティ」を企画運営してくれました。「食べて、遊んで、おしゃべりを」こころゆくまで楽しめたささっこでした。(まもる)

特に15日は久しぶりにたくさんの仲間が集まりました。久しぶりの子ども来てくれてとっても嬉しかった！たまに行きたいなと思ったときに、気軽に遊びにこられる関係をこれからも続けていけたらと思います。みんないつもありがとう！また遊ぼう！  
(みゆう)



## 「お茶飲み」しながら お話しませんか？

11月12日(土)10時～12時

於：笹屋敷公会堂

出入り自由。持ち込み、差し入れ大歓迎!!  
この機会に訪問も出来ればと考えています。  
どなたでも気軽にお立ち寄りください。

# ボランティア依頼申込み用紙

受付日： 年 月 日

差し支えない範囲で下記の欄にご依頼内容とご連絡先のご記入をお願いいたします。菅原町内会長へご連絡いただきましても、ご依頼をお受けさせていただきます。もちろんこれまで通り、口頭でのご依頼もお受けしています。

ふりがな	
氏 名	
住 所	〒
連絡先	
ご希望の日時	
ご希望の連絡方法 (○をお付けください)	いくつでもお選びください どれでもよい・自宅電話・携帯電話・FAX・メール・郵送・ その他( )
ご依頼内容 場所や必要人数など	
備 考	

《注意》 ワークの場ではアルコール・人を不快にさせる性的な言動は一切禁止です。

何卒ご理解の程よろしおねがいたします。

※個人の情報はご連絡のためにのみ使用します。また、ご本人の承諾がない限り、利用目的以外に個人情報を使用することはありません。

お問い合わせ：日本キリスト教団東北教区被災者支援センター・エマオ

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6 電話：022-265-0173 FAX：022-265-0174